

谷川岳登攀報告

日程: 2010 年 9 月 18 日(土)前夜発 - 20 日(月)

山域: 谷川岳東尾根

参加者: 久世(L)・松林・廣岡

行程:

第 1 日目: マチガ沢 BC - 第 1 見晴し - シンセン沢 - 左俣 - 東尾根 - トマの耳 - 巖剛新道 - マチガ沢

第 2 日目: 一ノ倉沢出会い - 夏道 - ヒョングリの滝下降地点(撤退)

17 日(金)

23 時 J R 荻窪駅南口集合。松林車で谷川へ。いつも通りロープウェー駅のロビーで仮眠。

18 日(土) 晴れ

マチガ沢出合手前の駐車スペースにテントを設営し、サブザックで出発。



06:50 マチガ沢出合手前の巖剛新道より入山。一般道を 30 分ほどで第一見晴に着く。



第一見晴 ここが今回の入山口。標識の奥から草をかき分けマチガ沢本谷に下る。



マチガ沢本谷から 30 分ほどの 4 段の滝。2 段目付近に右からシンセン沢が合流する。



シンセン沢の左俣と右俣。中央がシンセン岩峰。

取り付きのルートは明瞭だったが、沢の両岩壁はにじみ出た水で岩が濡れて滑りやすい。笹と草がびっしりと生え、すぐにルートが判らなくなった。乾いた岩面を沢に沿って登るが、当初予定の右俣へのルートが見つからない。所々に錆びて曲がった残置支点があるが湿った滑る岩とスポッと抜けそうな草を見極めながら高度を稼ぐ。ロープを出していないので下を見るとかなりヤバそう。



シンセン左俣下部岩壁のクラックは濡れているため断念。ロープを出して右斜面を巻く。ランニングが取れず慎重に登るも 風が無く、暑い！！



不安定な草付とガレた急斜面を越すとシンセンのコルに出る。
東尾根はバケツ状の踏み跡もあってルートは明瞭。吹き上がる風も爽快だった。



東尾根、観倉台手前から。



終了点はオキの耳横に飛び出した。

西黒尾根から巖剛新道を経てマチガ沢出合のテントに明るいうちに帰ることができた。

19 日(日) 早朝晴れ午後曇り夕刻雨

一ノ倉沢出合いから夏道をヒョングリの滝下降点まで登ったものの、谷川稜線は雲に隠れて見えない。天気予報は午後からの悪化することのこと。

下降点には先行の 3 パーティーが下降順番を待っているうえ、テールリッジ上部も登攀者でつまっている。

稜線をおおう雲とテールリッジを撤退する人数の多さに登攀意欲を喪失。断念することにした。



稜線を雲に覆われた一の倉沢。 午後から天候は下り坂に。



ヒョングリの滝への懸垂下降する先行パーティー
一ノ倉沢出合に戻った後、幽ノ沢、芝倉沢を偵察しマチガ沢に戻りテントを撤収した。

(記: 松林)